

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月11日 (2010.3.11)

【公表番号】特表2009-525595(P2009-525595A)

【公表日】平成21年7月9日 (2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2008-551939(P2008-551939)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

H 0 3 K 17/78 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 J

H 0 3 K 17/78 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月25日 (2010.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

L E Dドライバ回路であって、供給電圧入力端子と、制御入力端子と、上記ドライバ回路を少なくとも 1 つの L E D に接続するための第 1 及び第 2 の出力端子とを含み、上記 L E Dドライバ回路は、

上記供給入力端子と上記第 1 の出力端子との間に接続されているダウンコンバート特性を有するスイッチドモード電源 (s m p s) を含み、

上記コンバータは、上記 L E D 電流を調整するためにヒステリシスを呈するように構成されたコンパレータ回路によって制御され、

上記コンパレータのスイッチングレベルは、基準端子で受ける電圧基準によって設定され、

上記制御入力端子は、上記コンパレータ回路の出力を可能または不能にするスイッチに接続されている、ことを特徴とする L E Dドライバ回路。

【請求項 2】

上記コンパレータ回路へ供給される対応電圧を確立するために、シャント抵抗が L E D 電流を受けることを特徴とする請求項 1 に記載の L E Dドライバ回路。

【請求項 3】

上記電圧は、ローパスフィルタを介して上記コンパレータ回路へ供給されることを特徴とする請求項 2 に記載の L E Dドライバ回路。

【請求項 4】

上記コンバータは、(ステップ) ダウンコンバータまたはバックコンバータであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の L E Dドライバ回路。